

【西安外国語大学・ワークショップ】

決定木分析を使った言語研究 *Language studies by decision tree analysis*



場 所：中国・西安外国語大学・長安校区・実験棟 SC294

日 時：2018年3月15日（木）午後1時－5時（90分2回）分類木分析；3月16日（金）午後1時から5時まで（90分2回）回帰木分析

講師：名古屋大学大学院人文学研究科・教授 玉岡賀津雄

講師紹介：玉岡賀津雄（TAMAOKA, Katsuo; tamaoka@nagoya-u.jp）は、名古屋大学大学院人文学研究科の教授で、言語心理学者として語彙の音韻・書字・意味・統語情報、句および文構造などの言語処理に関して、母語話者(L1)および第二言語話者(L2)を対象に広範囲の研究を行っています。査読論文を164本、査読の無い論文を66本出版しています。単著および共著の査読論文には、心理学分野では、*Journal of Neurolinguistics*, *Journal of Psycholinguistic Research*, *Psychonomic Bulletin and Review*, *PLoS ONE*, and *Journal of Experimental Psychology: Learning, Memory, and Cognition*, *Psychological Research*, *心理学研究*, *認知科学* などに、言語学分野では、*Language*, *Lingua*, *Linguistic Inquiry*, *Journal of Japanese Linguistics*, and *Journal of Quantitative Linguistics*, *言語研究*, *計量国語学*, *日本語教育*, *日本語文法*, *レキシコンフォーラム*, *小出記念日本語教育研究会論文集*などに掲載しています。詳細は、ホームページの「研究業績」を参照してください(<https://www.lang.nagoya-u.ac.jp/~ktamaoka/>)。

ワークショップの内容：このワークショップでは、日本語学習者から得たデータを決定木分析と呼ばれる多変量解析で分析する方法を、実際に出版(印刷中を含む)された6つの論文とオリジナルデータを使って説明します。決定木分析は、予測される従属変数が名義尺度の場合には分類木分析、スケール尺度の場合には回帰木分析を使います。2018年3月15日(木)は分類木分析を、3月16日は回帰木分析を使った言語研究を紹介します。分析には、IBM SPSS Statisticsで起動するDecision Treesのソフトを使います。

【3月15日(木) - 分類木分析】分類木分析は、論文①のような日本語学習者の会話における丁寧表現の頻度を調べた条件でも使えます。マレーシア人が日本に来る前後で、丁寧表現の頻度がどのように変わったかを分類木分析で検討します。また、分類木分析は、論文②のような正答・誤答のテストデータにも応用できます。中国人日本語学習者の語彙力の上中下群による語彙的複合動詞の表現の正誤判断データに応用した例を紹介します。さらに、論文③の人を表す接尾辞の派生語習得に影響する要因についても解説します。これら3つの論文に使われた方法をオリジナルのデータを使って分類木分析をやってみます。

【3月16日(金) - 回帰木分析】回帰木分析は、論文④のように日本語の行為要求疑問文を否定形で使用するとより丁寧になるかどうかを、日本語母語話者の丁寧度判断から予測することができます。また、論文⑤では、中国人日本語学習者による擬音語と擬態語の正誤回答比率を学習者の語彙力や日中両言語の類似性などから予測する回帰木分析を紹介します。論文⑥では、助言場面における意識をポライトネス理論(Brown & Levinson, 1987)の枠組みから推測される諸変数で予測する回帰木分析を解説します。

【解説論文】①ジャミラ・モハマト(2008)『マレー語母語話者の日本語話体習得に関する縦断的研究—初対面場面における事例研究—』名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士論文。②玉岡賀津雄・初相娟(2013)「中国人日本語学習者の語彙的複合動詞の習得に影響する要因」(影山太郎 編)『複合動詞研究の最先端-謎の解明に向けて』(pp. 413- 430) ひつじ書房。③大和祐子・玉岡賀津雄・初相娟(2015)「中国人日本語学習者の人を表す接尾辞の派生語習得に影響する要因」『小出記念日本語教育研究会論文集』23, 33-45。④林炫情・玉岡賀津雄・宮岡弥生(2011)「否定によって日本語の行為要求疑問文はより丁寧になるのか」『日本学報』86, 143-153。⑤馮亜静・玉岡賀津雄(2018, 印刷中)「中国人日本語学習者による擬音語と擬態語の習得に影響する要因」『中国語話者のための日本語教育研究』9。⑥黄郁蕾・玉岡賀津雄(2015)「中国人日本語学習者の助言場面における意識と行動に影響する諸要因」『言語文化と日本語教育』48/49 合併号, 11-21。

【企画者・連絡先】西安外国語大学日本文化経済学院長 母 育新 (nakare72@yahoo.co.jp)